

令和7年(2025年)12月8日

保護者の皆様

札幌市立陵北中学校
校長 鈴木伸和

開校記念日のお知らせ

日暮れの早さに長い冬の始まりを感じる季節となりましたが、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に深い御理解と温かな御支援を頂き、心から感謝申し上げます。

さて、既に行事予定表でお知らせしておりますが、12月15日(月)は本校第65回開校記念日です。この日は、本校の設置が認可され、初代の校長・教頭が発令された日であります。開校式は昭和36年1月17日に、向陵中学校、琴似中学校、中島中学校、狩太中学校(現在のニセコ中学校)から生徒を受け入れて行われました。

校名は、竣工間近の校舎から南の山々を望んだときに藻岩山、円山、三角山、手稲山がそれぞれの表情をもちながら美しい線を空に描いていて、その姿が希望にあふれる若い力の象徴のように思われたことに由来しています。「陵北」の「陵」は「おか」とも読み、陵(=山並み)の北というより、南の連山を望むところという意味もあるようです。

また、美しい山々をモチーフに、これを四方に広げたものが、陵北の表徴として校章に造形されました。この4つの山々には、新しい学校の発展とそこに学ぶ子どもたちの幸せと向上を願う人々の思いが込められ、それぞれの山に願いを託し生活信条となってきました。



生活信条

- 1 大いなる**希望**をいただき、前進しよう
- 2 変わらぬ**友情**を支えに、あたたかい学校をつくろう
- 3 限りなき真の**幸福**を求めよう
- 4 苦難に耐え、不撓の**努力**をつづけよう

(昭和36年1月5日 制定)

改めて、校名や校章に込められた思いや願い、4つの信条の目指すところを考えながら、伝統を受け継ぎ、保護者の皆様並びに地域の皆様の御期待に応えることのできる学校づくりを進めてまいりたいと思っております。今後とも一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

開校記念日の趣旨に思いを寄せた、有意義な一日であることを願っております。